

授業科目名	【G】	民法(物権)	区分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2	
			選択					
科目区分	専門科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	民法物権のルールとしくみを学ぶ				担当者	関 義央		
授業概要	【概要】	民法において債権と並ぶ代表的な権利である「物権」の中でも講学上「普通物権法(物権法総論)」と呼ばれる部分(民法175～294条)についてのルールとしくみを学ぶ。						
	【到達目標】	1. 物権のルールとしくみについて理解し、他者に説明できる。 2. 裁判で実際に問題となった事例を参考に、法の解釈・適用ができるようになる。						
履修条件	特になし。ただし、授業運営や成績評価方法などの詳細を説明するので、初回授業に必ず出席すること。							
アクティブラーニングの方法	【-】	事前学習型	【-】	反転授業	【○】	調査学習	【○】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【-】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【-】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)						
他科目との関連性	①「民法概論」「民法(総則)Ⅰ・Ⅱ」を履修済みまたは履修中であることが望ましい。 ②今年度後期に開講する以下の科目は本科目の教科書の後半部分を扱うため、本科目に続けて履修するのが望ましい。「民法(担保物権)」							
教科書	永田眞三郎＝松本恒雄＝松岡久和＝中田邦博＝横山美夏『物権[第3版]エッセンシャル民法2』(有斐閣、2023年 ISBN978-4-641-18466-4) 令和6年版の小型六法(出版社は問わない。判例付きでなくてもよい)							
参考書	必要に応じて授業中に紹介する。							
評価方法	学習到達度確認テストの成績(60%)とレポート課題(40%)により総合評価する。 ただし、ほかに課題・小テストによる成績を加味する場合もある。詳細は初回の授業で説明する。							
フィードバック方法	教員が採点・評価したテストやレポートを返却する。							
評価基準	上記授業単元の内容について、概略を理解した者については「C」とし、その背景や理由等も理解した者については「B」、さらに、主要な学説や判例を理解し、自己の見解を適切に表現できた者については「S」または「A」とする。単元の内容についての理解が不十分な者についてはその程度に応じて「D」または「E」とする。なお、所定の出席要件を充たさないなど評価不能の場合には「F」とする。							

授業科目名	【G】 民法（物権）	区分		開講年次	【G】2	単位数	【G】2
		選択					
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス、物権法序説						
	予習:	物権と債権について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
2	所有権①序説						
	予習:	所有権の内容について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
3	所有権②物権的請求権						
	予習:	物権的請求権の種類・内容について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
4	所有権③取得						
	予習:	所有権の取得方法について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
5	所有権④共同所有、建物区分所有						
	予習:	一物一権主義と共有について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
6	物権変動①総論						
	予習:	物権変動の意思主義について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
7	物権変動②不動産物権変動の公示						
	予習:	公示の原則について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
8	物権変動③不動産登記による対抗						
	予習:	対抗要件について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
9	物権変動④動産物権変動						
	予習:	公信の原則について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
10	物権変動⑤即時取得						
	予習:	即時取得の内容について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
11	用益物権①総論						
	予習:	所有権と制限物権について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
12	用益物権②各論						
	予習:	用益物権の種類・内容について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
13	占有①序説						
	予習:	所有と占有の違いについて調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
14	占有②取得時効との関係、占有訴権						
	予習:	占有訴権の種類・内容について調べる(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
15	授業の総括						
	予習:	物権のルールとしくみを整理する(90分)		復習:	授業内容について整理する(90分)		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・対面授業であっても、Google Classroom といったWeb上のシステムを活用する。 ・対面授業の場合、携帯電話(スマートフォン、タブレットも含む)は電源を切るか、マナーモードにすること。 ・対面授業の場合、私語は厳禁。悪質な場合は退室を命じ、以後の受講を認めない。 						